



笠井 かなえ

笠井かなえの Let's 市民力!

ネット・宗像事務所
宗像市東郷 2-4-15
tel/fax 37-0700

Vol.1 2016年5月

自由ヶ丘2丁目在住 「住んでるまち」を「住みたいまち」に

暮らしのことばを市政に!

ネット・宗像は・・・

宗像市で初めての女性議員を市議会に送りだして25年になります。それ以前は、暮らし周りのことが議会で取り上げられることはほとんどありませんでした。生活者の視点を持つ議員が議会に入ったことで、子どものこと、高齢者のこと、学校教育のことなど、暮らしに密着した課題が議会の中で議論されるようになりました。

生活の当事者である市民の声を議会に反映させること、議会で得た情報を市民で共有し一緒に考えることで、「住んでるまち」を「住み続けたいまち」にしていくために活動をしています。

ふくおか市民政治ネットワークの

市民自治を広げるための3つのルール

1、議員は2期8年で交代

理由1 一人が長く議員をすると、「なれ合い政治」や「お任せ政治」につながります。市民感覚を大事にし、暮らしの声が反映される議会を目指します。

理由2 新しい人が議員になると、その人の周りに議会や政治に目を向ける人が増えます。それが政治や地域を変える力につながると考えます。



2、活動資金は、議員報酬からの寄付、会費、カンパで

3、選挙はカンパとボランティアで

生活って政治! 生活者の視点を大事にします。



議会では、私たちが納めた税金の使い途や制度について決めています。介護のこと、子育てのこと、学校教育のことなど、私たちの暮らしに密着したことが決められています。

例えば、小中学校の自校式の給食は、ネットの議員が予算書の中から給食の食器がプラスチック製に変更になることを見つけたのが発端でした。食器の安全性に疑問を持った保護者が「学校給食を考える会」を立ち上げ、子どもたちの食の大事さについて考え、市民運動を展開しました。ネットも議会で提案する等一緒に活動をしました。その結果、他の議員や市長を動かし、自校式の給食が実現しました。

昨年問題になっていた「総合スポーツセンター」の建設は、市民に情報が丁寧に説明されないまま計画が進められました。結局国からの予算が来なくなったことで中止になりました。しかし、建設を知った市民が中止の署名活動をするなど市民活動を展開した結果でもあると思っています。

「生活って政治」です。生活者の視点を大事に、市民が市政の情報を共有し、税金の使い道などを一緒に考えていくことが大事だと思います。市や議員にお任せにして、気が付いたら自分が思ってもいないことになっていたなんてことがないように、今より少しだけ、自分の住んでいる宗像市のことに関心を持ってみませんか。

笠井かなえの
「16頃」 「んな」

春になると、我が家の庭には色々な花が咲きます。チューリップ、桃、アーモンド、サクラソボ、ハナミズキにモッコウバラ、プラムのような実がなる木(名前は不明)、ブルーベリー、羽衣ジャスマイン、紫蘭など。

一番のお気に入りの、なんじゃもんじゃの木(ヒトツバタゴ)です。我が家のシンボルツリーとして庭の真ん中に立っています。高く伸びた枝につく白く輝く花々はとてもきれいで、地面に落ちた姿もまた可憐です。花が終わると実がなり、今度は鳥が集まってきて賑やかになります。

虫が苦手な私は、もっぱら植えるのが専門、手入れは夫の担当です。絶妙な連携プレイ(?)で毎年春が楽しみです。